

足 監 査 第 56 号

平成 24 年 10 月 24 日

足利市葉鹿財産区管理者

足利市長 大豆生田 実 様

足利市監査委員 岩 崎 勝

足利市監査委員 岡 本 篤 典

足利市監査委員 黒 川 貫 男

平成 23 年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算  
審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 23 年度足利市葉鹿  
財産区特別会計歳入歳出決算を審査したので、その結果について、次のとおり意見  
を提出します。

## 平成 23 年度 足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成23年度 足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

平成 24 年 9 月 18 日から平成 24 年 10 月 24 日

### 第3 審査の方法

審査にあたっては、管理者から審査に付された平成 23 年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算書及び附属書類と会計管理者及び担当部課が所管する諸帳簿等を照合し、計数の確認を行ったほか、事務事業及び予算の執行状況等について関係職員からの説明を聴取して行いました。

### 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令にのっとり作成され、また、計数も関係諸帳簿、証ひょう書類と符合し、予算の執行もおおむね良好でありました。

なお、歳入歳出差引残高は、出納閉鎖日現在における指定金融機関等の預金現在高証明書と一致し、正確であることを確認しました。

審査の概要は、次のとおりです。

(注) ・本文中及び表中の金額は、原則として百の位を四捨五入し、千円単位としました。このため、合計額と内訳の計が一致しない場合や決算書と一致しない場合があります。

また、前年度対比は、原則として、千円単位の数値で比較しました。

- ・ 比率(%)は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入しました。このため、内訳の合計が 100.0 とならない場合があります。
- ・ ポイントとは、百分率(%)を比較した場合の単純差引数値です。

#### 1 財政運営の状況

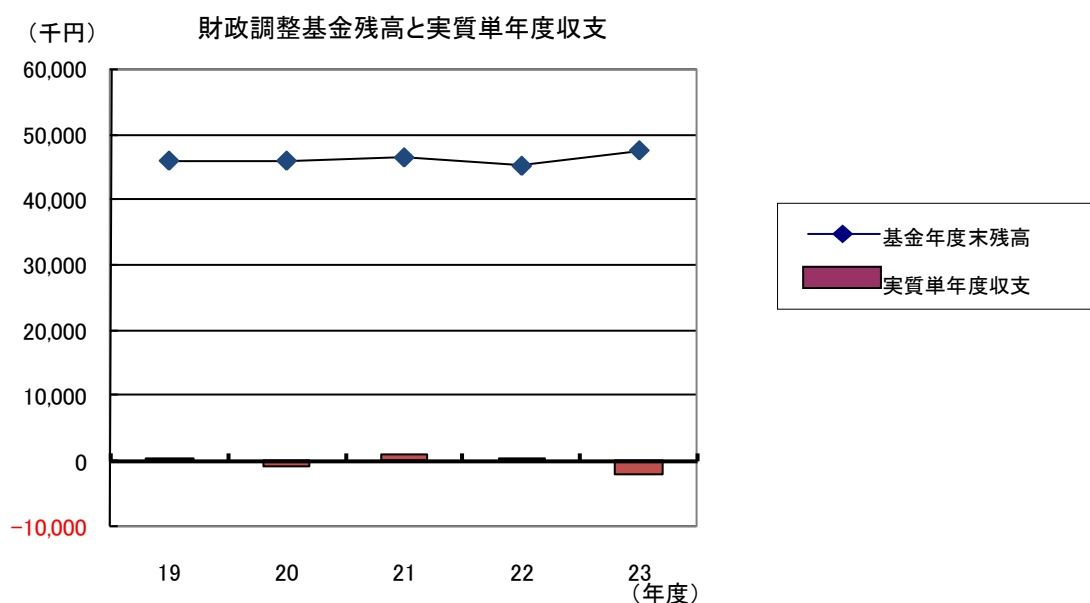
本年度の財政運営の状況をみると、前年度に比べて歳入は 5.4%減少し、歳出は 45.5%増加しています。

財政収支をみると、本年度の実質収支 932 千円から前年度の実質収支 3,027 千円を差し引いた単年度収支は 2,094 千円の赤字となったものの、基金の積立取崩

しはなく、実質単年度収支も 2,094 千円の赤字となっています。

歳入の構成は、主に繰越金 46.9%、土地貸付料 42.0%、駐車場収入 8.3%となっており、また、歳出の構成は、主に財政調整基金積立金 43.5%、議員報酬 27.2%、一般管理費 23.0%となっています。

なお、本財産区をとりまく経済環境が変化し、今後、主要な財源である駐車場使用料が大幅に減少すると予測されますので、財源確保の方策を検討する一方、歳出を抑制しつつ、将来の財政安定のために財政調整基金の増額に努めるよう要望します。

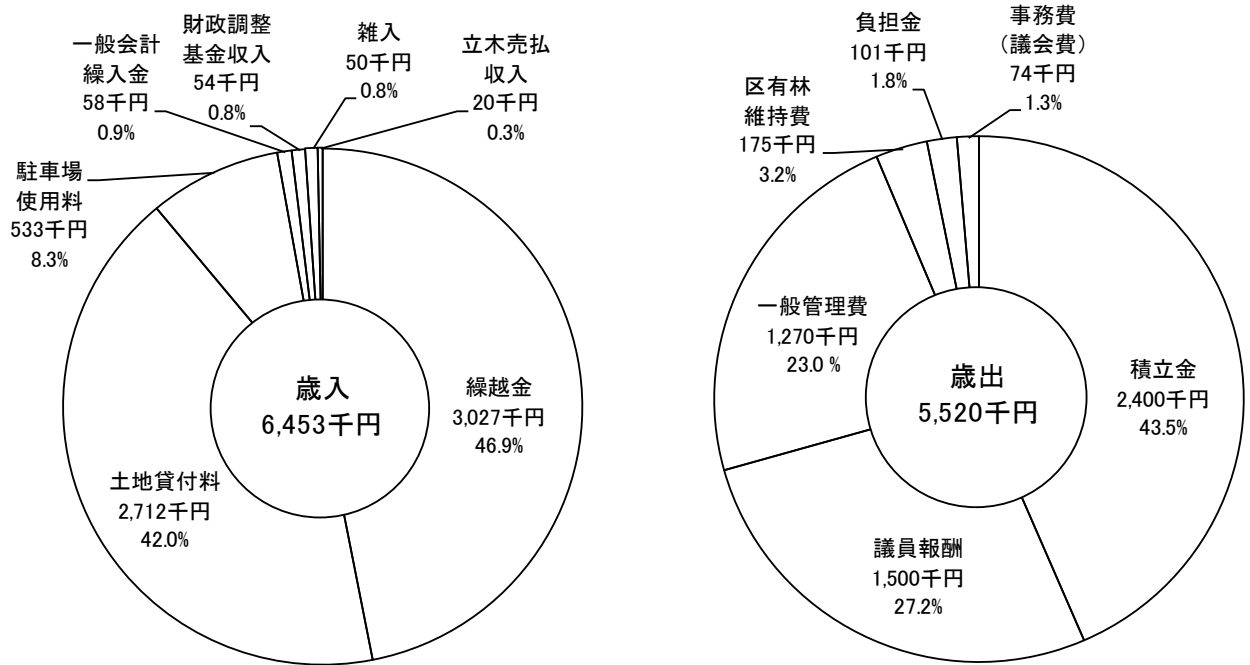


財産区は、地方自治法第 294 条等において、その所有する財産又は公の施設の管理及び処分が主たる目的で、財産の適正な維持管理を行うことにより、住民の福祉の増進に寄与するとともに、地区と市との一体性を損なわないように努めることが求められています。

また、地球環境の保全が求められ、森林が果たしている様々な機能が注目されています。郷土の貴重な緑を護るとともに、水源涵養という観点から、将来の展望を踏まえ、これに係る財産の確保と森林の育成に配慮されるよう希望します。

## 2 歳入、歳出

本年度の歳入歳出決算の構成比率は、次のとおりです。



### (1) 歳入

(単位 千円・%・ポイント)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
23	6,500	6,453	6,453	0	99.3	100.0
22	7,000	6,821	6,821	0	97.4	100.0
比較増減	△500	△368	△368	0	1.9	0

歳入決算額は6,453千円で、予算現額に比べて47千円(0.7%)の減、収入率が99.3%となり、前年度に比べて368千円(5.4%)減少しています。

これは、主に前年度繰越金が1,710千円(129.8%)増加したものの、財政調整基金繰入金が1,300千円(皆減)、駐車場使用料が419千円(44.0%)、土地貸付料が176千円(6.1%)減少したことによるものです。

収入の主なものは、前年度繰越金3,027千円(構成比46.9%)、土地貸付料2,712千円(構成比42.0%)、駐車場使用料533千円(構成比8.3%)です。

調定に対する収入率は100.0%であり、また、収入の事務処理も適正に行われており、問題点は見受けられませんでした。

## (2) 歳 出

(単位 千円・%・ポイント)

区分 年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
23	6,500	5,520	980	84.9
22	7,000	3,794	3,206	54.2
比較増減	△500	1,726	△2,226	30.7

歳出決算額は 5,520 千円で、執行率が 84.9%となり、前年度に比べて 1,726 千円(45.5%)増加しています。

これは、主に事務費(議会費)が 596 千円(89.0%)、一般管理費が 111 千円(8.0%)減少したものの、財政調整基金積立金が 2,400 千円(皆増)増加したことによるものです。

支出の主なものは、財政調整基金積立金 2,400 千円(構成比 43.5%)、議員報酬 1,500 千円(構成比 27.2%)、一般管理費の負担金補助及び交付金 1,270 千円(構成比 23.0%)となっています。一般管理費の負担金補助及び交付金 1,270 千円の内訳は、葉鹿地区自治会長連合会事業補助金 1,200 千円、財産区共用車維持管理経費等負担金 70 千円となっています。

また、不用額は 980 千円(15.1%)で、主なものは、予備費 427 千円を除くと、財産管理費の委託料 308 千円、需用費 140 千円であり、本年度の事務事業は、おおむね予定どおり執行されているものと認められました。

支出の事務手続は、おおむね適正に行われていましたが、補助要綱が定められていないなど補助金について課題が認められました。

### 3 財産の管理

土地は、本年度中の増減がなく、年度末現在高が 1,028,370 m<sup>2</sup>となっています。

立木の推定蓄積量については、本年度中に所有 144 m<sup>3</sup>の成長があり、年度末現在高は 11,144 m<sup>3</sup>となっています。

財政調整基金は、前年度に比べて 2,400 千円増加し、年度末現在高が 47,600 千円となっています。

財産の管理については、おおむね適正に行われていました。